

ほんめの“眼” ~HOMME's EYE~

出産のせいで仕事ができなくなるなんて悔しい...

本目さよの想い



人事職として働いているとき、育児休業を取得した女性社員から ③-1/4 たにあり
「保育園に入れなくて仕事に戻れません」という連絡が。「子どもを産んだから」「女だから」「男だから」という理由で、やりたいことができない社会はおかしい。

人生を決断したのは12年前。台東区議会で最年少かつ、
現在は唯一の未就学児を育てる女性議員としての提案はどれも重要だったと思っています。
3期目で大きく前進できたこともあり、今までの台東区政を大きく変えるきっかけになれたと信じています。



自分で実際に出産を経験して、議員活動に使える時間が減ったことに焦りを覚えました、
経験に即したより具体的な提案も数多くできるようになりました。

コロナ禍での臨時休園で、在宅保育と仕事がかたがた両立できないことへの絶望感。かわいい盛りに一緒にいられる時間が増えて嬉しい反面、たびたび休園になる保育園生活は決して楽ではありませんでした。

現役子育て世代の代表として、全力で議員としての責任を果たしていくことを約束します。

誰もがやりたいことができる社会にしたい!

台東区議会議員 無所属

ほんめ

本目さよ

子育て、本命。
—やさしい政策—



★今後の政策の参考にするためのアンケート&応援メッセージにご協力ください! ↑

これからも引き続き取り組みたいこと

子どもに
やさしい政策

②-4/4 年にあり

保護者が笑っていて、
子どもも笑っている台東区

- ・早産児への対応
- ・不登校のこどものための政策多様化
- ・公園の禁煙化
- ・保育の質の向上
(保育士賃金の向上含む)
- ・母子向け防災の情報と
備蓄の充実 など

女性に
やさしい政策女性の立場に立ち、性別にかかわらず
誰もが暮らしやすい台東区

- ・更年期と妊娠出産、
プレコンセプションケア*
- ・ペリネイタルロス(流産死産)への
ケアの充実
- ・子どもクラブにおける宅配弁当の実施
- ・小中学校のトイレに
生理用品設置 など

*将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと

①-1/2 年にあり(すじ)

みんなに
やさしいICT政策ITなどさまざまな
ツールが活用ができて、
わかりやすい台東区

- ・子育て周りの申請を電子化
- ・リノベーションまちづくりの推進
- ・ガバメントクラウドファンディング
(例:文京区子ども宅食)
- ・行政の仕事の効率化 など

①-2/2 年にあり(すじ)

今までの実績

訪問型病児保育の補助、リフレッシュでつかえるベビーシッター助成、多胎児支援、RPA(自動化技術)の導入推進、
区立保育園の連絡帳の電子化、保育園のおむつ持ち帰りがなしに、学校の標準服に女子の長ズボンやキュロットを導入 など

プロフィール

1982年3月10日生
資格:保育士党籍:無所属
会派:つなぐプロジェクト趣味:読書、おかしづくり
好きな物:くだものお茶の水女子大学大学院修了。IT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。2011年より台東区議会議員。
3期12年間、最年少かつ、唯一の未就学児を子育て中の女性議員として現実に即した提案を行う。女性議員の少なさへの
課題意識から立ち上げた一般社団法人WOMAN SHIFTの代表理事。4歳、0歳の2児の母。ママの議員インターンを受け入れ中。

連絡先

皆様のお困りごとを政策につなげます! お気軽にご連絡ください。

臨時事務所: 台東区上野桜木 2-10-1 1F (2023年4月2~23日)
M A I L : info@sayohomme.com